

平成21年度 第1回 モビリティ・マネジメント分科会 議事要旨

日時：平成21年6月29日（月）15:00～17:00

仙台市役所2階 仙台市議会第二委員会室

担当		所 属	役職・氏名
協議会	分科会		
委員		社団法人宮城県バス協会	代理 課長 新田 誠 (専務理事 北村 治)
	委員	社団法人宮城県バス協会業務課	課長 新田 誠
委員	委員	仙台商工会議所経営相談部	次長 阿部 昌展
	委員	特定非営利活動法人 まちづくり政策フォーラム	欠 席 (理事 足立 千佳子)
委員		東日本旅客鉄道株式会社仙台支社総務部企画室企画課	課長 狩野 安則
委員	委員	宮城交通株式会社営業部	課長 本間 洋一
委員	委員	仙台市交通局総務部経営企画課	課長 佐藤 和美
委員	委員	仙台市交通局自動車部輸送課	代理 主幹 石川 英一 (課長 村上 修)
委員		仙台市交通局高速電車部営業課	欠 席 (課長 菅澤 勇)
	委員	愛子観光バス株式会社一般乗合事業部	欠 席 (課長 佐々木 柳台)
	委員	東北学院大学学生部学生課	欠 席 (課長 荒 高夫)
	委員	東北工業大学学生課	課長 谷口 正昭
	委員	東北大学教育・学生支援部学生支援課	課長 坂本 秀敬
	委員	東北大学財務部資産・調達管理課	欠 席 (課長 丸山 正彦)
	委員	宮城教育大学学生・就職主幹	欠 席 (課長 板垣 毅)
	委員	東北学院大学生生活協同組合	専務理事 細畑 敬子
	委員	東北工業大学生生活協同組合	欠 席 (専務理事 濱谷 崇)
	委員	東北大学生生活協同組合	室長 小野 塚一郎
	委員	宮城教育大学生生活協同組合	理事 田村 孝夫

委員		国土交通省東北地方整備局企画部広域計画課	代理 課長補佐 藤崎 哲也 (課長 北村 章)
委員		国土交通省東北地方整備局道路部道路計画第二課	課長 舟山 和重
委員	委員	国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所調査第二課	課長 松井 幸男
委員	委員	国土交通省東北運輸局企画観光部交通企画課	代理 専門官 佐藤 隆 (課長 日下 雄介)
委員		国土交通省東北運輸局自動車交通部旅客第一課	代理 課長補佐 菅原 克也 (課長 小野寺 亨)
委員	委員	宮城県企画部総合交通対策課	代理 班長 鈴木 (課長 蘓武 清一)
委員		宮城県警察仙台市警察部庶務課	課長 植野 芳則
委員		宮城県警察本部交通部交通規制課	代理 係長 菅原 充 (課長 清野 光一)
委員	委員	仙台市企画市民局総合政策部総合計画課	代理 主任 唐牛 かずさ (課長 折田 裕幸)
委員		仙台市企画市民局市民生活部市民生活課	課長 小嶋 一利
	委員	仙台市企画市民局地域政策部区政課	欠席 (課長 鈴木 憲一)
委員	委員	仙台市環境局環境部環境企画課	欠席 (課長 川辺 直)
委員		仙台市建設局道路部道路計画課	課長 村上 貞則
委員		仙台市建設局道路部道路管理課	代理 主幹 千葉 幸喜 (課長 高橋 正志)
会長		仙台市都市整備局総合交通政策部	部長 岩崎 裕直
事務局	分科会長	仙台市都市整備局総合交通政策部公共交通推進課	課長 小林 法夫
事務局		仙台市都市整備局総合交通政策部公共交通推進課	主査 五十嵐 大
			主任 岩淵 伸
			技師 松井 健良

## 議事要旨

### (1) 協議会の概要についての説明

委員の交代に伴い、本分科会は、公共交通利用促進協議会の中で、モビリティまね地面の戸について協議する場として組織されたことを説明し、会議については公開とすることについても承認を得た。

また、分科会委員については公共交通利用促進協議会において、別紙のとおり指名されており、分科会長には委員互選により、小林委員(仙台市公共交通推進課長)が選任された。

その後、下記の項目について説明を行った。

○平成20年度の取り組み内容について【事務局】

○平成21年度の取り組み予定について【事務局】

○平成21年度のモビリティマネジメント分科会の予定について【事務局】

### (2) 質疑

●せんだいスマートグッズ(バスマップ、動機付け冊子)は、転入者以外には配っていないのか？

【事務局】

●現在、仙台市への転入者が公共交通に関しての情報を持っていないことから、転入者に対象を絞っている。しかしながら、一般の方からもほしいとの意見を頂いており、今後資料の中身・費用負担等について関係者と検討していきたいと考えている。

【坂本委員】

●バスマップの配布によって、バス停に近いアパート等が早く契約するようになったが、結局的のよい場所が早く決まり、その後、遠いところが後から決まるという側面もある。そういったことから、アパート等の供給面を公共交通の利便性の高い地域に誘導する必要があるのでは？

【事務局】

●商工会議所の中に、不動産部会があり、現在不動産部会の中で公共交通の利便性の高い地域の居住地を増やしてはといった提案を行っているので、今後そういった点について協議を行っていききたいと思っている。

【東北大学学生課坂本委員、小野塚委員】

●バスを利用しようにも、路線がなかったり、時間があわない(朝はあっても帰りがない)といったことから、学生が必ずしもバスを利用できる状況となっていない。また、仙台の場合目的地にバスで行く場合、仙台駅周辺まで一度行って乗り換える必要があることから、こういった問題についても、検討課題としていきたい。

【村上委員】

●前年度から市バス(＋地下鉄)フリーパスを実施したことから、本年度大学関係のバスについては、急行便を含め増便を行っているし、レイニーバスといった新たな取組みも行っている。しかし、利用者が今後増えれば増便できるのだが、バス事業者は運賃収入によって営業を行っており、限られた資源をもとに営業しているため、ご理解を頂きたい。

【田村委員】

●市バス(＋地下鉄)フリーパスによって乗降人員はどうなったか？

【村上委員】

●H21.4月の主要なバス停での乗降人員は、前年度比(H20.4月)と比べ、12%増となっている。

<その他意見>

【小野塚委員】

●大学バスマップの取組みについて否定的ではないのだが、学生が居住地を選択する際、大学

に近いところ、生活環境、家賃、間取りといった点を優先する。そのため、大学バスマップの効果検証方法については、検討の余地があると思う。

**【坂本委員】**

● 東北大学生の八幡周辺に住む学生等は、バスで青葉山の坂を通過して通学する時、バス代節約の理由で萩ホール前で自転車を駐車でバスに乗る生徒もおり、東北大学では、地下鉄東西線に向けて、駐輪場の拡大といった検討も視野に入れている。

<説明資料のデータについての指摘事項>

OMM分科会の後日、資料3⑧のグラフについて、実施後（H18-19）のデータに誤りがあるとの指摘を交通局から受け、データの修正を行い、誤ったデータを今後使用しない旨説明を行った。（※資料3⑧グラフ参照）